



防災訓練

避難訓練

9月26・30日に児童デイサービスの避難訓練を実施しました。非日常的な活動の為、混乱することなく落ち着いて行動できる様に、日常の支援でやっている「目で見えてわかる工夫」を導入しました。



上の写真は並ぶ位置と順番を視覚的に伝える道具です。順番待ちの場面等、日常的に活動で使っているの、使う場所や時間が変わっても子ども達は「いつもどおり」に並ぶことができました。

もちろん実際の避難の場面ではこうした支援の導入は難しいと思いますが、訓練で落ち着いて避難した経験が、実際の避難の際に活かされ、混乱せず安全に避難できればと思います。



防災ずきんを被って整列

日本語おもしろい

坪内忠太著 新講社より



◇十六夜日記の十六夜を、なぜ「いざよい」と読むか？

月の出が十五夜より50分ほど遅く、出るのをためらっているようだと見立て、「いさよう」といったもので、その名詞形が「いざよい」。『十六夜日記』は藤原為家の側室・阿仏尼そのの日記。日記だから作者はこれに名前をつけていなかったが、十五夜の次の10月16日(十六夜)から書き始められていたことから、後にいわれることとなった。

介護保険でヘルパーに頼めること(○)、頼めないこと(×)

～身体介護その1～

◆排泄

○・排泄の介助 場合により、汚れた衣服の処理や便器などの簡単な清掃を含む。

○・おむつの交換 場合によりおむつから漏れた汚れやリネンの交換も。

○・浣腸 市販の浣腸器を使う場合のみ。専門的な管理が必要な場合はできない。

◆入浴

○・衣服着脱、全身浴

○・手浴や足浴、シャンプー

○・体を拭く 準備、後始末も含む。

◆移動や体位変換

○・体位変換

○・起床、就寝介助 場合により、布団を敷いたり、しまったりすることも含む。

○・移乗、歩行介助 歩行器や杖の場合も準備や歩行介助を頼める。

○・通院の介助 (付き添い、病院の支払い、薬の受け取り、次回の予約) 病院に行くための準備や、交通機関の乗り降りの介助も含む。場合によっては院内移動の介助も頼める。

×・病院までヘルパーが車を運転して連れていく。

×・通院先で医師に症状を説明したり、医師の説明を聞いてくる。

心づれづれ



私の母

私の母は大正10年生まれの90歳。佐賀県の介護施設でお世話になって、5年になる。

母が81歳の時に一緒に暮らしていた弟が他界した為、主人の理解もあり、愛知で20日、佐賀で10日の介護帰省バスを利用した二重生活が始まり、現在も続いている。

実家の家は古く、敷地は広い。おまけに田や畑まであり、草取りと掃除に追われる私を見た母は手伝おうとするのだが、何せ80過ぎの母である。転んで骨折でもしたら大変という思いがあり、母の手出しに、あれもダメ、これもダメ、ダメ・ダメの繰り返しに母は怒り、母と娘の口げんかが始まるのであった。

「愛知に帰れ！お金を盗んだ！」などと言うようになった頃は悔しさで何度も涙を流した。ひとり暮らしからくる淋しさから「具合が悪い・・・」と電話を掛けてきた為、急いで帰省すると元気そのもの。こんな生活が4年ほど続いたが失火の不安が出てきた為、母の気にいった施設に入所の手続きを取り現在に至っている。

認知症の始まりと知らず、母を「鬼」と思った時期もあったが、今では優しい母だと思えるようになってきた。母は娘婿である私の主人が大好きで、一緒に帰省すると大喜びだが、私が一人で帰省したことを知りながらした表情をする。

「また来てね、首を長くして待っているヨ。」という言葉を目にすると、母の言葉を裏切らないようにしなければと思う。

『主人とまごころの皆さんのお陰』で今月も親孝行ができることに感謝、ありがとう。

協力会員 田中節子



ミニデイだよ



食は人を元気にさせる

「今日も美味しかったよ。たくさん作るのは大変でしょ!!!御苦労さまだね。」と声を掛けられると、私は嬉しくていつも舞い上がってしまう。

私は、ミニデイのお昼の調理を担当している一人です。

「いただきま〜す。」と、利用者さんと一緒に食べられる昼食は、私にとっても本当に楽しい時間です。

人に感謝されることの嬉しさ、こんなに人を元気にさせるとは・・・

料理は私にとって食べてもらえる人の喜んだ顔を思い、更に元気でいてもらえるよう、献立作りにはげんでいます。さ〜て今週は何を作ろうかな？

ミニデイスタッフ：Y.K



今日のメインは、ヘルシーハンバーグ!



秋の大作、作製中です